

3月1日（日） 厳粛に多賀高校第六十五回卒業証書授与式を挙行できました。在校生の皆さんには、式に出席させられなくて、申し訳なく思っています。また、卒業生にも申し訳なく思っています。高校生生活にとって部活動の先輩方との別れの卒業式は、一つの区切りとして大切な儀式です。令和二年度の卒業式は、例年のとおり行いたいものです。

さて、休校三日目となりました。

皆さんいつもどおりの時間に起床しましたか。朝ご飯、昼ご飯は食べましたか。

新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校は、夏休みや冬休みのような長期休業ではありません。通学している時と同じスタイルで生活して下さい。

以下の項目

- ・ イソップ物語 アリとキリギリスの教訓
- ・ 休校中のお願い
- ・ 2年生へ 自主学習して下さい。
- ・ 1年生へ 自主学習して下さい。
- ・ 安全な生活を

イソップ物語の「アリとキリギリス」のお話をご存じでしょうか。夏の間、鳴き暮らしていたキリギリスといつもコツコツと食べ物集めに働いているアリのお話です。結末は3パターンあって伝えたい教訓で変わります。冬に食べ物がなくなったキリギリスにアリが食べ物を分け与えるパターンは、「困った人を助ける優しい人になるべきである」という教訓を、冬に食べ物が無くなって、寒さでキリギリスが死んでしまうパターンは、「後先を考えずに過ごすと後で困る」という教訓を、冬になって食べ物が無くなって死にそうなキリギリスにアリが「夏に歌ってばかりいるからですよ」と言い、キリギリスが「歌うべき歌はすべて歌った。私の身体を食べなさい」というパターンの「幸せの尺度は人によって違う」という教訓です。キリギリスは、本来は、蟬が原作だったそうですのでアリが食べ物を与える結末は、本来は無かったですね。

私の解釈は、やはり3番目の教訓です。キリギリスが鳴くのは仕事です。生きるため、種を残すための手段であり、決して遊んでいたのではないからです。人それぞれに生きる目的があり、方法手段が違い、他人には理解されないこともある。

この物語の教訓は、「『何のためにどうしたいのか』という目標を持ってその目標をどうすれば達成出来るかをはっきり意識して生きなさい」ということではないでしょうか。

私からのお願いです。今からお話しすることは、休講中の生活の基本中の基本です。

この休校期間中、いつもどおりに起床し、学校の時間割に従って6時間（月曜日は7時間）の学習を行って下さい。体育には、身体を動かし、芸術や家庭は、今までの復習をするとか、課題を行ってもよいでしょう。先生方が、クラッシーで配信された課題や休み前に担当の先生から出された課題は、必ず行い、学校が始まった折に提出できるようにしましょう。（先生方

の指示にしたがってください。質問は、クラッシィを介して担任や担当の先生に質問してください。放課後は、それぞれの部活動の自主練習・自主稽古を行って、部活動の感を鈍らせることなく過ごしてください。

特に2年生の皆さんは、今の時期を3年生0（ゼロ）学期 と言って、進路決定の大切な時期になっています。一般企業就職希望の人や公務員希望の人にとっては、試験までの日数は、半年あまりです。AO入試を希望している人もほぼ同じ時期でしょう。選択する進路によっては試験がもっと早い人もいるかも知れません。3年生0（ゼロ）学期を有効に使ってください。

大学進学を目指している人は、「今勉強しないでいつやるの？」というほど取組の差が結果に出る時期です。目標を高く持って、目標に向かって何をいつまでにどうすれば目標を達成出来るのか見通しを立てて勉強してください。

1年生の皆さん 本日は高校入学試験の日です。皆さんの一つ下の後輩たちが、高校入試に臨んでいます。あいにく雨で寒い一日ですが、一生懸命試験に取り組んでいます。高校入試に取り組んでいた頃の勉強のペースを思い出し、この休校期間、自主学習に務めて下さい。

最後に、自宅に一人でいる人をお願いします。

宅配業者や郵便局の人など多くの人の来客があると思いますが、むやみにドアの鍵を開けずに相手をよく確認し、安全を確かめて来訪者と対応して下さい。

茨城県立多賀高等学校長
岡部 和也